

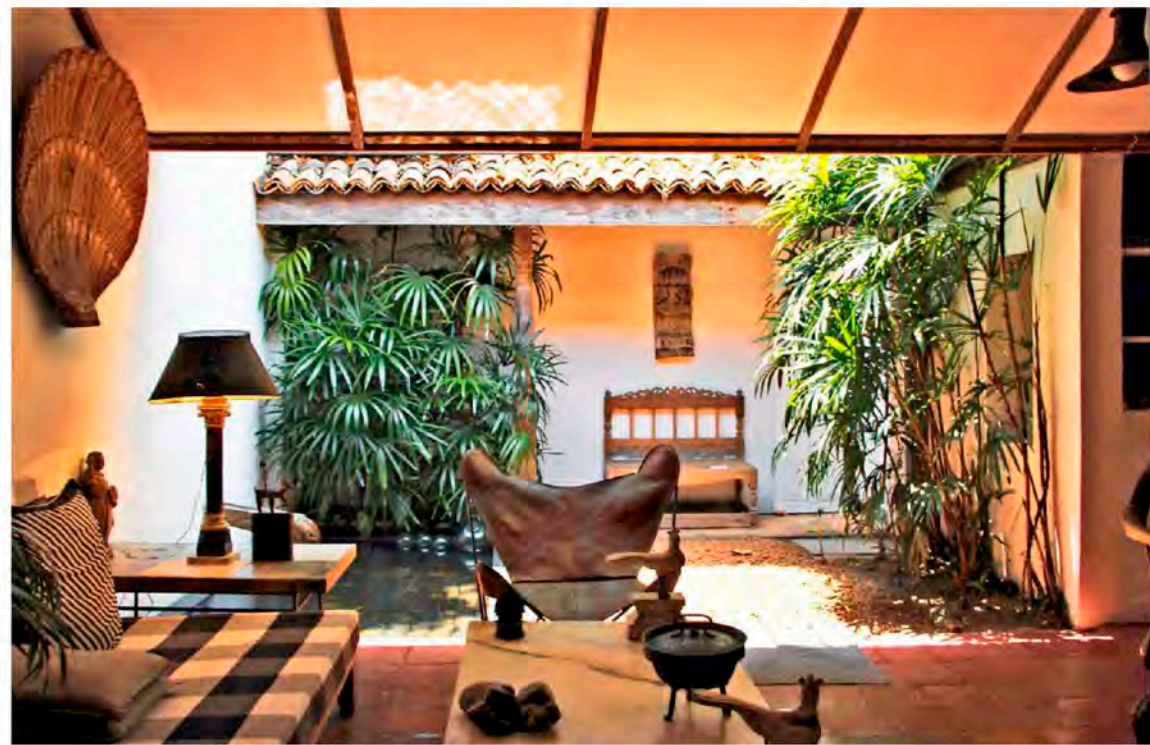
比嘉暢子の実家  
(沖縄本島ヤンバル)

# ちむどんどんから学ぶ 沖縄の建築と人生

建築探訪 Part II  
文・写真/福村俊治 27



ジェフリー・パワ作品集の表紙、Thames&Hudsonより



ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。



庭から雨端と室内を見る。手前にある二番座が家族のダイニング・リビングルーム。いつも仏壇のあるこの部屋で家族はワイワイガヤガヤ、笑いや楽しい会話がある。何も無い殺風景な部屋のはずだが、室内からは常に庭の緑が見える。(「ちむどんどん」HPより)



暢子の実家の外観。海と山の間、亜熱帯植物の緑に囲まれる。父賢三が造ったセメント瓦葺きの木造住宅。開けっぴろげの住宅。玄関も間仕切りも無いオープンな住宅は心地よい風が吹き、虫の音が聞こえ、庭の美しい緑が見える、まさにリゾート住宅。(「ちむどんどん」HPより)

ふくむら・しゅんじ 1953年滋賀県生まれ。関西大学建築学科大学院修了後、原広司+アトリエファイ建築研究所に勤務。1990年空間計画VOYAGER、1997年teamDREAM設立。沖縄県平和祈念資料館、沖縄県総合福祉センター、那覇市役所銘対庁舎のほか、個人住宅などを手掛ける

毎月第2週に掲載

このドラマはあと3週間で終わる。どうなるのか目が離せない。こんな建物に暮らし楽しい人生を過ごしたい。

ふくむら・しゅんじ 1953年滋賀県生まれ。関西大学建築学科大学院修了後、原広司+アトリエファイ建築研究所に勤務。1990年空間計画VOYAGER、1997年teamDREAM設立。沖縄県平和祈念資料館、沖縄県総合福祉センター、那覇市役所銘対庁舎のほか、個人住宅などを手掛ける

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。

ジェフリー・パワの建物はかつての沖縄の住宅のように戸外に開かれている。そこにはいつも半戸外空間と、緑、心地よい影があり、風が通り抜ける。